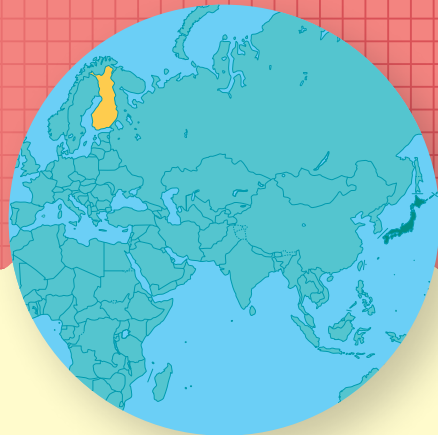


フィンランド



フィンランドってどんな国?

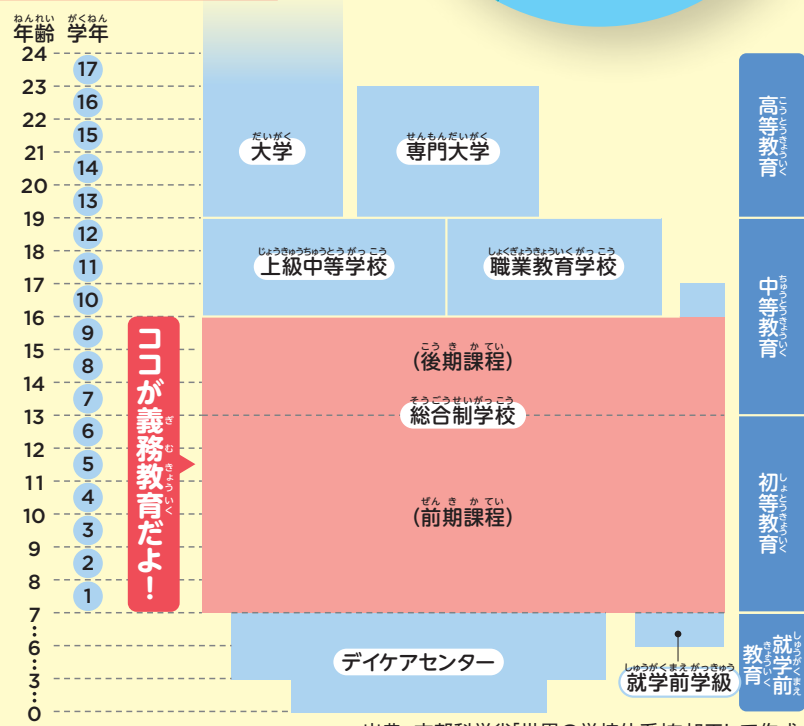


- 国名** フィンランド共和国
- 面積** 33.8万km²
- 人口** 約553万人
- 首都** ヘルシンキ
- 言語** フィンランド語、スウェーデン語
- 通貨単位** ユーロ

出典：外務省「国・地域」
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/finland/data.html>を加工して作成。

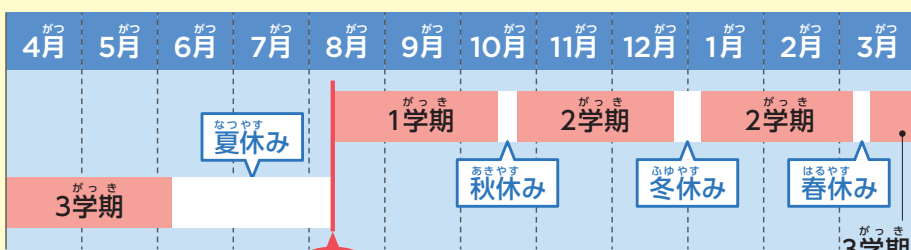
北欧(北ヨーロッパ)諸国の1つで、国土の7割が森林で湖も多いため、「森と湖の国」と呼ばれています。国土の3分の1が北極圏内に位置するので、冬の寒さが厳しいです。

学校の制度



フィンランドの義務教育は、7～16歳の9年間です。日本の小学校にあたる初等教育は7歳入学で総合制学校の前期課程として6年間行われ、残りの7、8、9学年までが義務教育です。最終学年で勉強量が足りない場合、10学年生として残ることが可能です。

小学生の1年間



フィンランドの小学校は、新学期が8月から始まる2学期または3学期制です。授業は月曜日から金曜日まで行われます。国語、算数、英語、環境、社会、体育、テクノロジー、美術、図工、音楽、宗教などを学びます。フィンランド語とスウェーデン語が公用語で、標識やお店の商品名も2言語で表記されるため、スウェーデン語も習います。

なるほどトピックスと日本とのつながり

森林豊かな教育大国

フィンランド人は、紀元前に現在のロシア・ヴォルガ川周辺から移り住んだ人々にルーツがあると言われています。豊富な森林資源を生かした製紙・パルプ産業と金属・機械産業が国の主要産業でしたが、1990年代後半から先端技術産業も盛んに。国連の世界幸福度ランキングで2018年から5年連続で1位を、OECD※が調査する学習到達度調査でも複数の分野で上位を獲得しています。

※OECD:Organisation for Economic Co-operation and Development の略で、日本語では経済協力開発機構。

フィンランドでは一家に1つはあるとも言われるサウナ。公共施設や湖畔、雪原にも設置されています。



つながり

日本でもおなじみのクリスマスにプレゼントを配るサンタクロースはフィンランドが故郷と言われています。また、フィンランド生まれのトールベ・ヤンソンによる小説と絵本の「ムーミン」シリーズは、世界中にファンがいる人気作品です。日本でも1969年にアニメ化されて以来、根強い人気があり、2019年には「ムーミンバレーパーク」が埼玉県飯能市にオープンしました。

フィンランドの小学校へ潜入!

フィンランドの教育の特徴は、すべての授業が日常生活に役立つように組み立てられていることです。たとえば、算数の授業で新しい計算式を学んだら、その式を使って家のローンの組み方や税金の計算をしてみます。また、地理で日本について学んだら、その週には日本料理の調理実習を授業で行うなど、知識と生活がどう結びついているのか、まで学んでいくのです。



髪の毛の色や服装は自由なんだって

グループで外国語のビデオクリップを作る授業。

実際に火を使って、鉄を打ちます。どれくらいの温度で鉄が曲がるのかなどを体感します。



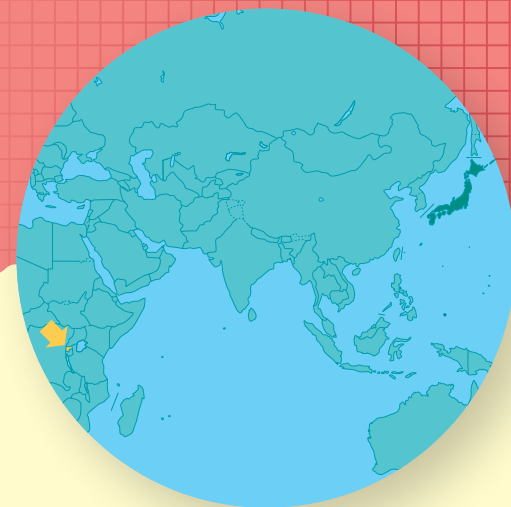
カレリア地方にある公立のマイユ・ラッスイラン校。

図工の授業の様子。本格的な工具を使って物を作ったり、修理したりします。



ランチタイムの様子。この日のメニューはサーモン料理。

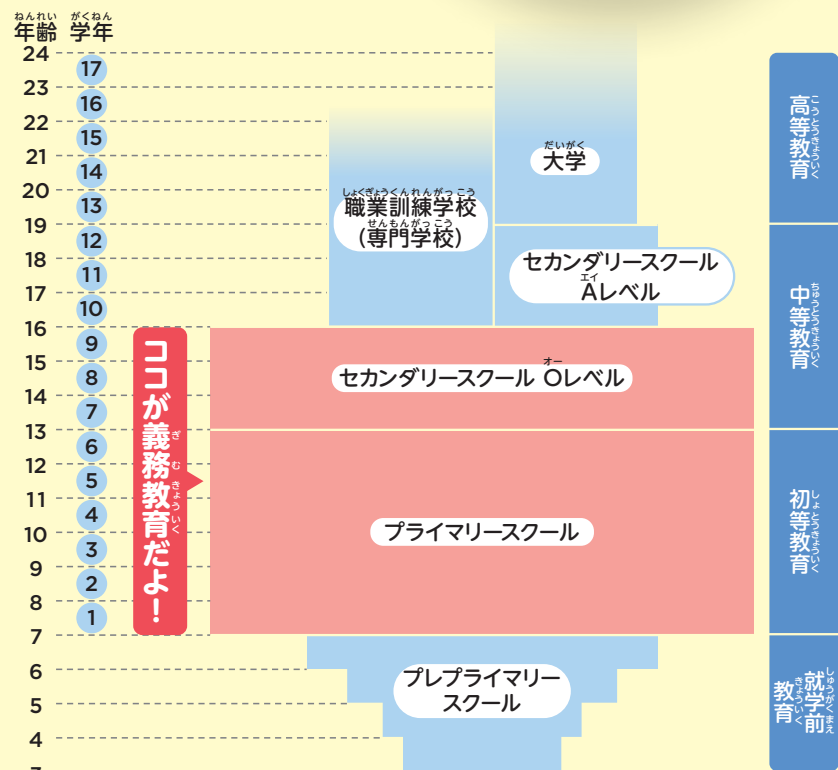
ルワンダ



ルワンダってどんな国?



学校の制度



- 国名** ルワンダ共和国
- 面積** 2.63万km²
- 人口** 1,263万人
- 首都** キガリ
- 言語** ルワンダ語、英語、フランス語、スワヒリ語
- 通貨単位** ルワンダ・フラン

出典：外務省「国・地域」(https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/rwanda/data.html)を加工して作成。

アフリカ大陸の真ん中やや東部にある国。赤道より緯度で数度だけ南に位置しています。丘の多い地形から、「千の丘の国」と呼ばれ、北はウガンダ、東はタンザニア、南はブルンジ、西はコンゴ民主共和国に接しています。中央部と西部はなだらかで緑豊かな山岳地帯が、東部にはサバンナ、平原、湿地帯が広がります。熱帯地域にありますが、標高が高いので月平均気温は1年を通して約20度と快適です。

出典：https://www.mineduc.gov.rw/basic-education、Rwanda TVET Boardと取材をもとに作成。

義務教育は、7～16歳の9年間です。日本の小学校にあたる初等教育は7歳入学で、6年間プライマリー学校で行われます。日本の中学・高校にあたる中等教育は、セカンダリースクールOレベル、セカンダリースクールAレベルで3年ずつ行われ、セカンダリースクールOレベルまでが義務教育です。2000年には73.3%だったプライマリー学校の純就学率が、2011年には95.9%と向上しました。ただ本来、卒業すべき年齢で卒業する子どもは約4人に1人しかおらず、また教師不足も問題となっています。

なるほどトピックスと日本とのつながり

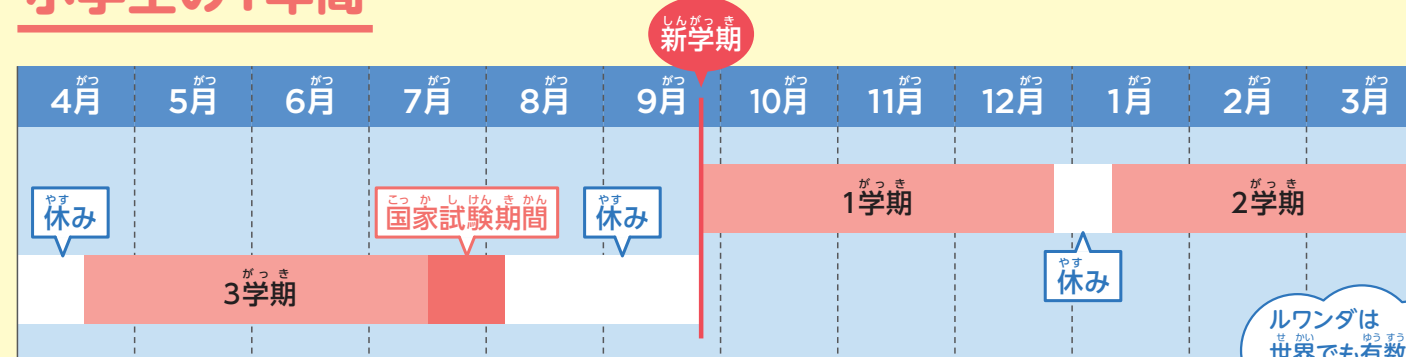
内戦を乗り越え、アフリカの奇跡と言われるほど成長

15世紀頃に現地にできた王国が起源と言われています。歴代の王によって治められていましたが、19世紀後半からはドイツやベルギーに侵略、統治されました。少数派のツチ族と多数派のフツ族の間で長い内戦が起き、1994年には100日間で80万人もの市民が虐殺される事件が起きました。現在は平和になって復興が進み、先進的な情報通信技術の導入に成功。2000年以降はコーヒーの生産などで、急速に経済を発展させています。

観光業も盛ん。絶滅危惧種に指定されている野生のマウンテンゴリラに出会えるツアーなどが人気です。



小学生の1年間



ルワンダは世界でも有数のジェンダー平等推進国なんだよ

新型コロナウイルス感染症の流行時は10月から新学期が始まっていたルワンダの小学校ですが、2022年度以降は9月から始まる3学期制になりました。授業は月曜日から金曜日まで行われます。国語、算数、英語、理科、社会、クリエイティブアーツ(音楽、ダンス、ドラマ、図工)、体育などで、高学年になるとフランス語が加わります。コンピューターの授業は理科に含まれます。6年生になると、みな国家試験を受け、合格するとセカンダリースクールOレベル(日本の中学校にあたる学校)に進めます。

東部県ルワマガナ郡にあるルシシロ小学校。校舎の壁に、「ジェンダーバランスの促進」「質の高い教育」などと学校の目標が書かれています。



ルシシロ小学校は首都キガリから車で1時間ほど。周囲に高い建物はありません。

ルワンダの小学校へ潜入!

学びの特徴

訪問したルシシロ小学校の教室は前後に黒板があって、真ん中に先生が行き来する空間が設けられています。先生は移動しながら説明をしていきます。教科書は先生しか持っていないため、黒板に書かれた内容をノートに書き写す時間が長めにとられています。電気節約のため、室内が暗いのも特徴です。屋根がトタンでできているので、大雨が降ると屋根の雨音で先生の声が聞こえづらくなり、雨が上がるまで授業を休止することもあります。



英語の授業の様子。「バード・フライ(鳥が飛ぶ)」「ハンド・クラップ(手を叩く)」など、先生が英語で言った通りの動作をします。



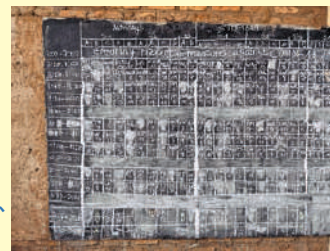
体育の授業。



給食室。大きなかまどと鍋で、子どもたちと教職員の給食を作っています。

ルワンダの公立校の一般的な給食。ご飯に豆が添えられています。

黒板に書かれた時間割。黒板消しにはスポンジが使われているので、きれいに消しきれないことも。



先生の質問に正解すると、「フラワー!」と言いながら両手を振って、みんなで褒めたたえます。



コンピューターの授業で文書作成ソフトの使い方を習っているところ。この日は文字を大文字にする方法や斜体にする方法を習いました。

学校行事

学期末には学習発表会が行われ、学年度末には終業式が行われます。クラスから数人ずつ成績優秀者が選ばれて、表彰をされます。この日はもっとも成績のよかった子どもに石鹸が贈られました。



表彰の様子。2位の子もたちには、ボールペンが贈られました。ルワンダの小学校では筆記用具として青いボールペンが使われています。

我が子を抱きしめながら「ウラコゼ(ありがとう)」とハグ。感動的!



保護者が見学席から飛び出して、表彰された我が子を抱きしめる場面も。

放課後風景



放課後、校庭で思い思いに遊ぶ子どもたち。

放課後は部活動をする子どももいますが、遊んだり勉強したりと、みな自由に過ごしています。



校庭がすごく広いね!

他校との試合に向けて練習するサッカー部。